

## 『音楽教育実践ジャーナル』 vol.16 (通巻第 29 号)の原稿募集

「音楽教育実践ジャーナル」は実践の交流誌です。実践報告、教材・教具のアイディア、実践にかかわる資料の紹介や実践にかかわる調査のまとめ等々、会員に発信したい内容の提案・報告などについて、特集と自由投稿に原稿をお寄せください。

次号の特集投稿のテーマは下記の二つです。自由投稿は、テーマにかかわらず多様な投稿をお待ちしています。

### vol.16 (通巻第 29 号) の特集テーマ

#### 特集 1 こどもの歌の変貌, その是非

こども向けの歌が変貌しているような気がします。たとえば、保育士を目指す学生に人気の《にじ》という歌は次のようなリズムで始まります。なぜ、フレーズの最後を拍頭におかず、先取り（アンティシペーション、前ノリ）しようとするのでしょうか。これは、あきらかに J. ポップのリズムです。歌詞内容も「虹がかかって、君の、君の気分も晴れて」ですから、幼児というより、落ち込んだ若者（保育士？）を励ます歌という気がしないでもありません。こどもはこういう歌を本当に好んで歌うのでしょうか。



仮に、J. ポップのようなリズム、コード進行の歌を幼児に教えているとすれば、「発達段階に応じて」系統的に作成されるべき学校教育のカリキュラムも問い直されることとなります。小学校にあがって「かたつむり」や「かくれんぼ」を歌うことになるわけですから。

特集 1 では、こうした問題意識にたち、1) 変貌するこどもの歌の実態、2) こどもの受け止め、3) 教師の教育理念と教材選択・・・についてのご報告、ご意見を投稿していただきたいと思っております。

#### 特集 2 日本のピアノ教育を考える—その歴史と現状

戦後の日本のピアノ教育は、高度成長期と軌を一にして急激な発展をとげました。音楽教室と一体化した楽器店の販売戦略によって、ピアノは瞬く間に一般家庭に普及し、さらに、全国に設置された音楽大学・音楽系学部は、優秀なピアノ教師を数多く輩出してきました。日本のピアノ教育は、専門的な教育を受けた多くのピアノ教師が、楽器店の主催する音楽教室や一般の独立したピアノ教室で活躍することによってめざましい成果をあげてきました。

このように、日本のピアノ教育は、主に公的な教育機関以外の場所で発展してきましたといえますが、教員養成や保育者養成の大学・短大などにおけるピアノ教育も見逃すことができません。日本では、ピアノが小学校教員、幼稚園教員、保育士の重要な技能ととらえられており、多くの教員養成や保育者養成機関では、ピアノが必修科目の中に位置づけられています。そして、これらの機関では、ピアノ教育においてさまざまな実践や研究が進められています。

特集 2 では、急激な発展をとげてきた日本のピアノ教育の実態を、歴史的背景から掘り起こし、その課題と可能性を、教材、指導法（メソッド）、教師教育など、さまざまな視点から考察していきたいと考えています。

### 【投稿時のお願い】

- ・封筒に「ジャーナル特集投稿」または「ジャーナル自由投稿」と朱書し、下記送付先にご郵送ください。
- ・【別紙1】投稿申込書、【別紙2】投稿者用チェックリスト各1部（学会ホームページよりダウンロードできます）を同封し、原稿4部をお送りください。
- ・書式、字数等は学会ホームページの『音楽教育実践ジャーナル』投稿規定』および「投稿の手引き」、テンプレートに従ってください。図表、写真等も挿入スペースを文字数に換算して字数に含めます。
- ・原稿の到着後、事務局より「受領通知」をお送りします。10日以上経過して通知がない場合は事務局へご一報ください。
- ・採否については、編集委員会から2018年5月末日までに投稿者へ連絡いたします。審議の結果によっては、修正をお願いする場合があります。

『音楽教育実践ジャーナル』vol.16(通巻第29号)への投稿は、自由投稿・特集投稿ともに、**2018年2月15日(木)必着**です。

\* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \*

### 📎『音楽教育学』締切延長のお知らせ📎

直近の締め切りは11月15日となっておりますが、できるだけ多くの方に『音楽教育学』へ投稿していただくために、次回の締め切りを11月30日(木・必着)まで延長して、投稿をお待ちすることとなりました(2018年8月発行の『音楽教育学』48-1号への掲載をめざします)。

\* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \* ♪ \*

投稿原稿は、

〒184-8799 東京都小金井郵便局私書箱26号 日本音楽教育学会事務局「編集担当」宛にお送りください。